

日本放射線腫瘍学会第33回学術大会 JAWRO 企画講演 座長総括

聖路加国際病院 放射線腫瘍科 中島直美

2020年10月1日、学術大会初日の午前10時より1時間、JAWRO 企画講演として法政大学キャリアデザイン学部教授 田中研之輔先生にお話をいただき、座長を務めさせていただきました。

今回新型コロナウイルス流行の影響で初めてのweb開催となりました放射線腫瘍学会学術大会に参加させていただき、久しぶりに数々の貴重なご講演に触れることができた感動と興奮がまだ冷めやらぬ今日、学術大会のオンデマンド配信が開始され、田中先生のご講演「ウィズコロナ時代に求められるプロティアン・キャリアとは？内的キャリアと真理の追求」を再度視聴できる喜びを噛みしめながらこの座長総括を執筆しています。

昨年夏に田中先生の著書「プロティアン 70歳まで第一線で働き続ける最強のキャリア資本術」に出会い

当時、自身のキャリアについて迷いの中におりました私も、その答えを見出すことができたように感じました。

その後田中先生が東京で出演されておりましたセミナーに参加し、様々な職種の多くの参加者の皆様がキャリアやプライベートについて生き生きと発言されている姿、また真摯に聴講されている姿を目の当たりにし

医療従事者の皆様にもぜひ知っていただきたいと改めて強く思い、今回のJAWRO 企画講演をお願いいたしました。

田中先生がご講演の中で言及されている通り、組織主体のキャリア形成、組織の中でどのように昇進するか、というような従来型のキャリアの捉え方が医療の世界にも根強く存在していますが、人生100年時代を迎えるにあたり、主体的なキャリア形成、開発を継続的に行い、心理的資本である「HERO (Hope, Efficacy, Resilience, Optimism)」を積み重ねて自身の内的キャリアを

追求することが、自身のキャリアを全うすること、組織とより良い共存関係を形成すること、につながるかと考え、私も益々自分のキャリアにブーストをかけていきたいと気持ちを新たにいたしました。プロティアン・キャリアの考え方が放射線治療に携わる皆様の今後のキャリア開発の一助になることを願っております。

最後に、今回のJAWRO企画講演の機会をいただき、リアルタイム配信に加え、オンデマンドでも配信いただき、専門医更新のための領域講習としてくださいました大会長の白土博樹先生、副大会長の青山英史先生、清水伸一先生、JAWRO会長の内田伸恵先生を始め本講演の実現にご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。